

本年度の協議会では、いじめをはじめ、子どもたちを取り巻く様々な課題を「予防・未然防止」と「支援」の両観点から検討する

視点

これまでの連絡協議会の  
流れ・課題提起

平成29年度第3回協議会で  
得られた主な意見

協議テーマ・協議のポイント（☆）

予防  
・  
未然防止

これまで「厳しい環境の子ども達への支援」を軸に協議を深めてきたが、自尊感情の醸成やいじめに対する対処力の向上といった予防的な支援についても協議してきた。

- サミットで学んだことを各学校でどう実施し、検証していくか。
- サミットの実効性を高めるため、評価指標を立てチェックすることが重要。
- 人権や尊厳が侵害される状況に対処する力をどう上げていくか。
- 自尊感情をいかにして育むか。

子どもたちひとりひとりの個性を輝かせるために

いじめや様々な課題に対する本県の予防的な取組について協議を深め、連続性・広範性のあるものにすることが必要である。

- ☆高知県いじめ防止基本方針に基づく予防・未然防止の取組（資料2-1）
- ☆これから注力していく予防・未然防止の取組
- ☆今後、必要となる予防・未然防止の取組

支援

これまで「切れ目のない支援の在り方」について協議されてきたが、関係機関の連携やリスクレベルの低い子どもへのケアについても協議してきた。

- ノーケアの子どもについて支援体制を組み上げないといけない。
- 情報弱者、社会的弱者に陥った子どもを今後どうしていくか。
- 一度対応し、終結した事案について対応後も継続的な支援を行うことができる環境が必要。
- リスクレベルの低い児童生徒への支援の徹底も重要。

子どもたちに抜かりのない支援の手を届けるために

いじめや様々な課題に対する本県の早期発見・早期対応・対処の取組について協議を深め、連続性・広範性のあるものにすることが必要である。

- ☆高知県いじめ防止基本方針に基づく早期発見・早期対応・対処の取組（資料3-1）
- ☆これから注力していく早期発見・早期対応・対処の取組
- ☆今後、必要となる早期発見・早期対応・対処の取組